

平成23年度JA佐渡 おけさ柿生産工程管理チェックシート (JA佐渡・JA全農にいがた)

収穫までの管理について、裏面の農業使用記録とともに、下記の各項目をチェックしましょう。

出荷終了後（チェック項目が○又は×で埋まったら）11月末日までに営農センターに提出ください。

1 記入方法



- ①作業が始まる前に、生産工程管理チェックシートに記載されている項目の内容を確認してください。
- ②出荷までの管理について自己評価し、「できた」と思う場合は「○」、「できなかった」思う場合は「×」と記入下さい。
- ③○で囲まれた番号の項目は重点的に確認が必要な項目です。
- ④項目で、共同防除等で作業委託の場合は、欄に斜線を入れてください。

2 作業終了後



- ①記入をすべて終わったら○印を数え、適正に行えたか検証をします。
- ②次年度に向けた改善点を検討し、次回に役立てます。

NO.	工程	目的	生産者の取り組み（チェック項目）	確認	備考（できなかった理由など）	
1	共通確認事項	食品安全	◎ 研修会・圃場調査へ積極的に参加し、指導情報等により情報収集した。また栽培暦・栽培基準・防除暦を読んだ。			
2			◎ 栽培履歴記帳を行い、肥料・農薬の使用状況を確認した。			
3			◎ 肥料や生産資材は整理整頓して保管している。また農薬は施錠できる保管庫で管理保管されている。			
4		環境保全	◎ 使用済みプラスチック等の廃棄物は地域の回収体制・方法に従って適正に処理した。			
5			せん定枝等利用可能なものは有機物資材として有効活用に努めた。			
6			果実や落葉は病害虫のまん延を防止するため土中埋設など適切に処分した。			
7		労働安全		作業前に作業者の健康状態を確認した。		
8				事故発生時や緊急事態時の連絡先と手順は明確にされていた。		
9			◎	SSや運搬機などの作業機械は定期的なメンテナンスや点検を実施して安全を確認した。		
10			◎	農薬使用の際は適切な防護服等を着用した。		
11				防護服と防護装備は、農薬と離して保管している。		
12				作業場の整理・整頓に努め作業中の衛生管理を適正に実施した。		
13	栽培管理	食品安全		堆肥や肥料は土壌調査に基づいた施肥基準に沿って使用した。		
14				防除暦や発生情報等から、病害虫や雑草の適正防除を心がけ、農薬を最小限に抑えた。		
15			◎	農薬は使用の都度ラベルを確認し、安全使用基準（倍率、散布量、使用時期等）を守った。		
16		◎	強風時に防除を行わないなど、周辺の作物に農薬が飛散しないよう注意して防除を行った。			
17				SSやポンプ、ホースなどの防除機械は、使用のたびに丁寧に洗浄した。		
18		品質向上	◎	健康な土づくりのために適正な有機物の施用と深耕を行った。		
19	◎		【着果管理】摘らい摘果は指導基準のとおり実施した。			
20	◎		【新梢管理】圃内は枝が混みすぎないように芽かき、徒長枝せん除等を実施した。			
21	◎		【剪定】隣接する樹と重ならないように縮間伐を実施するとともに、適正な結果枝母枝密度とした。			
22		◎	【着色促進】反射マルチを収穫期前に敷設した。			
23	収穫・調整・出荷	食品安全	◎	果実を傷つけないように手袋を着用し、丁寧に収穫を行った。		
24			◎	収穫時に使用する資材（カゴ、手袋、ハサミ、コンテナ）は定期的に洗浄して清潔に保った。		
25				選別、調整の作業場などは、整理整頓し定期的に清掃を行った。		
26		◎	農薬使用の収穫前日数を確認し収穫を行った。			
27		品質向上		収穫期情報や着色基準に基いて、適期に収穫した。		
28	◎		果梗による刺し傷、擦り傷が発生しないように収穫後果梗を短く切りなおした。			
29			選果場搬入前に出荷基準・要領を確認の上、粗選果（庭先選果）した。			
30			果実を傷つけないようにゆっくり丁寧に運搬した。			
31	総合		今年取り組んだ生産工程管理について、改善が必要な事項について検討した。			

※◎部分は重点項目ですのでしっかりとチェックしましょう！！

JA確認欄	確認日	月	日	印
-------	-----	---	---	---